

みずなら

発行責任者
校長 高橋秀明

6

年度の折り返し、後期に向けて

校長 高橋秀明

今年度も折り返しの時期を迎える頃となりました。中体連等の取組も一息つき、文化の秋と言われるがごとく、前期から積み重ねてきた文化的な学習である総合的な学習や、弁論大会、学校祭など、発表の機会も増えてくる時期となります。日頃の教育活動の成果をお伝えできるよう、生徒達の取組が充実化するようサポートに当たっていきたいと思います。

話は変わって、8月30日に上西春別小学校で開催された根室地方PTA研究大会にて、文部科学省国立教育政策研究所・長田徹先生の教育講演「今の学びを将来につなげるために」の中で、学力向上を図るための条件として、「物的な代償を与える外発的な動機づけでは、学習効果はあまり期待できず、自分から目的を持って取り組む内発的な意欲づけが大切である。」とのお話を頂きました。しかし、この内発的な動機づけがなかなか難しく、動機づけのためには今の学習が将来の仕事や社会にどうつながっていくかゴール



● 校内弁論大会に向けての学級予選の様子(1年)

を具体的に示すことや、教える側が学習の目的を、強い意図を持って伝えていくことの重要性についてもお話を頂きました。また、内発的な意欲を高めさせるためには、自己肯定感(自分の存在価値を認め自信をもっていくこと)を高めさせることが非常に大切であり、自己肯定感を高めさせるポイントとして、「ふるさとの良さを発見させる」、「家族の絆を強くする」、「学校を好きにさせる」など、子どもたちを取り巻く3つの環境を整えていく重要性についても提言して頂きました。

講演の中では、東日本大震災で実際に石巻市であった事例等を挙げながら、子どもたちが中心となって活動し、地域に勇気や元気を与えてくれた取組についても紹介して頂きました。誰に言われるわけでもなく、子どもたちが行った自主的な取組を紹介する中で、子どもたちの持っている可能性や、素晴らしい潜在能力を引き出すために、地域や保護者、学校がどんな働きかけを進めて行かなければならないのか、貴重な提言をして頂きました。1時間半あまりの講演でしたが、あっという間に時間が過ぎてしまう程の内容で、人を引きつける感動的な講演でした。今後は、講演頂いた内容を参考にしながら上春別地区の特性を生かし、地域と学校の連携を更に強化していけるよう工夫を重ねて行きたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、今年の4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が8月に公表されました。本校の結果についても分析したところ、生活習慣や学習に対する姿勢など、学校と家庭が連携しながら克服しなければならない課題が、浮き彫りとなってきました。詳しい本校の分析結果におきましては、別記載でまとめてありますので、参考にして頂き側面から支援して頂きますようお願いいたします。

◆▽● 全国学力・学習状況調査の結果について ●△◆

4月に3年生を対象に行いました「学力・学習状況調査」の結果をお知らせ致します。保護者の皆様には同時に配布したお子さんの「個人票」も併せてご覧下さい。

【国語】

基礎知識を問うA問題では、33問中13問の正答率が全国平均を上回りましたが、全体では全国平均に比べてやや低い結果でした。課題は、伝えたい事柄が明確になるように文章を構成することや文脈に即して正しい漢字を書くこと、手紙の書き方を理解してまとめること等です。

応用力を問うB問題では、9問中、2問が正答率で全国平均を上回りましたが、全体では全国平均に比べて低い結果でした。課題は、複数の資料から必要な情報を読み取る力や収集した情報を利用して事実や事象を相手にわかりやすく伝える力、根拠を明確にして自分の考えをまとめて表現すること等です。

今後は授業の中で生徒が活発に発表できるよう発問を工夫していくとともに、漢字テストも継続しながら、それが家庭学習につながっていくよう取組んで参ります。

【数学】

「数式・方程式」「図形」「関数・確率」等の基礎知識を問うA問題では、全国平均よりも正答率が低いです。36問中15問で全国平均を上回りました。正答率が低かったのは、数と式の領域では、数量関係を文字式に表すことや連立方程式に関する問題。図形の領域では平行移動の作図や、作図の根拠を問う問題。関数の領域ではグラフの理解に関する問題でした。

B問題では、15問中4問で全国平均を上回る正答率となりましたが、全体では全国平均よりも正答率が低くなりました。数と式の領域では健闘しましたが、図形や関数の領域では全国を下回りました。

今後は授業の組み立てを工夫する中で、生徒の発言する機会や考える時間を増やし、数学への関心を高めていきたいと考えています。また、振り返り学習に役立つノートの取り方を工夫改善するとともに家庭学習の習慣化に向けて指導して参ります。

【理科】

25問中、2問が正答率で全国平均を上回りましたが、全体では全国に比べて低い結果でした。分野別で見ると、生物分野で全国と同程度の知識は定着していますが、化学や物理・地学の分野では、全国平均と比較して低い傾向でした。出題の仕方が普段行っているテストと異なる部分も多かったので、やりにくさもあったようです。

但し、理科に対する関心はとても高いので、今後はそれを生かしながら確実に知識の定着を図るとともに、いろいろな傾向の問題にも対応できる思考力・応用力をつけていくよう指導して参ります。



【生徒質問紙】※生徒質問紙（87問）の中から見えてくる本校の特徴と課題点について

地域に対する愛着や誇りは強い様子が伺えます。テレビやゲーム、インターネットに向かう時間が多く、家庭学習の時間が十分確保されていない状況です。新聞やニュースに触れる機会も少なく、社会に対する関心が薄いようです。また、必要を感じている教科への関心は高い傾向が見られます。

今後はそれぞれの教科で学習の目的を明確にすることで、学習への意欲や興味を高めていくとともに、生徒個々が早く自分の進路や目標に向かえるよう支援をしていくことが必要と考えます。また、生徒の理解をより深めるための視聴覚機器の活用についても検討して参ります。さらに、本校の研究主題である「コミュニケーション能力の育成」については、研修の時間を活用しながら全職員で取組の検証を進

め、子ども達がより豊かなコミュニケーションを育めるよう取組んで参ります。

子どもの学力・体力の向上のためには基本的な生活習慣の定着が大切です。寝不足や体調不良で授業を受けても学習効果は望めません。本校では以前より生活習慣チェック等を活用しながら生活習慣改善の取組を進めて参りました。年度当初からのそれらの取組は今後も継続して参ります。「早寝・早起き・朝ご飯」や「テレビ・ゲーム・スマホ等の使用ルール」、「休日の家庭学習時間の確保」等にご理解をいただき、保護者の皆様には今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



◆▽● 体験を通じ学びを深める ●△◆

2学期に入り、総合的な学習も本格化してきました。9月1日には2年生がアイヌ文化を学ぶためにアイヌ文化財団よりアドバイザーを招き、アイヌの伝統楽器であるムックリの製作を行い（写真右上）、さらにアイヌの文化や歴史についての講話を聞きました。講話ではアイヌ語で「チャランケ」という話し合いで解決する文化のことや、同じ北海道のアイヌでも日高山脈をはさんで西と東で言葉や踊りが違うこと、その他狩猟や交易、歴史に関すること等を学びました。



8日には3年生が町内の柏の実学園を訪問し、交流を通じて障がいを持つ人への理解を深めたり、接し方について学んだりしました（写真上）。生徒が書いた礼状には「気持ちを理解することの大切さをしっかり実感できた」とか「相手の立場になって接したい」等の言葉が書かれており、有意義な学習となりました。2学期末に少しでも良い発表が出来るように今後も体験や調査活動等の学習を進めて参ります。

◆▽● お知らせ ●△◆

★部活の終了時刻が24日から午後5時半となっています。送迎時の交通安全にご協力を！

10月の行事予定

日	曜	内 容	バス
1	木	午前授業（給食あり）	13:30
2	金	委員会、中標津高体験入学	15:50
3	土		
4	日	別海町パイロットマラソン	
5	月	スピーチ集会、ALT生活習慣チェック（9日迄）	15:50
6	火	町バイオガス発電見学（2年）	15:50
7	水	3年学テB、職員会議	15:50
8	木		15:50
9	金	委員会、交流給食（2・3年）	15:50
10	土		
11	日	上春小学芸会	
12	月	体育の日	
13	火	家庭学習推進週間（18日迄）	15:50
14	水	避難訓練	15:50
15	木	弁当の日、白鳥号	15:50
16	金		15:50
17	土		
18	日		
19	月	全校集会、ALT、交流給食（3・1年）	15:50
20	火		15:50
21	水	職員会議	15:50
22	木	学校祭総練習	15:50
23	金		14:35
24	土	学校祭（登校日）	15:30
25	日		
26	月	振替休日、2学年親子レク	
27	火	3年生二者面談開始	15:50
28	水	学校便り発行	15:50
29	木	交流給食（1・2年）	15:50
30	金	委員会	15:50
31	土		